

(68)

氏名(生年月日)	カツ 勝	ベ 部	タカ 隆	オ 男
本 籍				
学 位 の 種 類	医学博士			
学位授与の番号	乙第882号			
学位授与の日付	昭和63年2月19日			
学位授与の要件	学位規則第5条第2項該当(博士の学位論文提出者)			
学位論文題目	早期胃癌に対する術前経内視鏡的 OK-432腫瘍内投与に関する研究			
論文審査委員	(主査) 教授 羽生富士夫 (副査) 教授 内山 竹彦, 教授 滝沢 敬夫			

論 文 内 容 の 要 旨

目的

溶連菌製剤 OK-432を手術前、経内視鏡的に腫瘍内投与し、投与された腫瘍局所の変化、投与前後における患者の細胞性免疫能の変動、この投与が所属リンパ節の抗腫瘍的な免疫反応に与える影響などを検索し、本投与法の免疫学的意義や治療効果を明らかにすることを目的とした。

対象および方法

溶連菌製剤 OK-432を手術5日前に10KE 経内視鏡的腫瘍内投与した早期胃癌のうち、リンパ節転移陰性の20症例を対象として以下の諸点を検索した。

- 1) 腫瘍局所の病理組織学的所見
- 2) 末梢血リンパ球数、末梢血リンパ球 PHA 幼若化反応、T cell subsets からみた患者の細胞性免疫能
- 3) 所属リンパ節リンパ球 PHA 幼若化反応、natural killer 細胞活性、T cell subsets、リンパ節反応形態(sinus histiocytosis, paracortical hyperplasia, germinal center hyperplasia) からみた所属リンパ節の抗腫瘍的な免疫反応

また、OK-432非投与でリンパ節転移陰性の早期胃癌16症例についても同じように検索、対照とした。

成績および結論

- 1) OK-432が投与された腫瘍局所には、リンパ球様細胞浸潤が認められた。
- 2) OK-432の術前腫瘍内投与により、末梢血リンパ球数、末梢血リンパ球 PHA 幼若反応の術後低下は防止した。
- 3) OK-432の術前腫瘍内投与により、末梢血リンパ

球の OKT4細胞化は上昇した。

4) OK-432の術前腫瘍内投与により、近位リンパ節リンパ球の PHA 幼若化反応、natural killer 細胞活性は上昇した。

5) OK-432の術前腫瘍内投与により、所属リンパ節リンパ球の T cell subsets に大きな変動は認められなかった。

6) OK-432の術前腫瘍内投与により、所属リンパ節の sinus histiocytosis, paracortical hyperplasia の grade は上昇したが、germinal center hyperplasia には大きな変動は認められなかった。

以上の成績からみて、溶連菌製剤 OK-432の術前経内視鏡的腫瘍内投与には、腫瘍局所にリンパ球様細胞を浸潤させる効果、術後の全身的な細胞性免疫能低下を防止する効果、所属近位リンパ節の抗腫瘍的な免疫反応を増強させる効果などがあると思われる。いずれも胃癌の予後に好結果をもたらすものであり、本投与法は臨床的有用性をもつ治療法であると考えられる。

論文審査の要旨

本研究は溶連菌製剤 OK-432を早期胃癌の術前に経内視鏡的に腫瘍近傍粘膜下に注入し、末梢血の細胞性免疫能、切除標本の腫瘍局所の病理組織像、所属リンパ節の抗腫瘍的免疫反応を検討した結果、OK-432の局所注入が、局所ならびに全身の細胞性免疫能ならびに所属近位リンパ節の抗腫瘍的免疫反応を増強させる効果があることを明らかにしたもので、臨床上学術上価値あるものと認める。

主論文公表誌

早期胃癌に対する術前経内視鏡的 OK-432腫瘍内投与に関する研究

日本臨床外科医学会雑誌 第48巻 第10号
1600～1610頁（昭和62年10月25日発行）

副論文公表誌

- 1) Mallory-Weiss 症候群を契機に発見された多発早期食道癌の1例
東女医大誌 54 (1) 116～120 (1984)
- 2) 腫瘍マーカーと細胞性免疫能からみた胃癌の再発について
外科 48 (2) 175～178 (1986)
- 3) 上腸間膜動脈閉塞症による小腸広範切除例の検討
腹部救急診療の進歩 6 (1) 103～107 (1986)
- 4) 胃全摘術における食道空腸器械吻合—手術手技と臨床的有用性について—
日臨外会誌 47 (2) 181～187 (1986)
- 5) 胃癌所属リンパ節の抗腫瘍的な免疫応答について
日消外会誌 19 (4) 862～866 (1986)
- 6) 電子内視鏡による上部消化管疾患の診断と治療
第4報 緊急内視鏡としての電子内視鏡の有用性について
東女医大誌 57 (2) 143～146 (1987)
- 7) 血清 α -fetoprotein 陽性胃癌の検討
日臨外会誌 48 (2) 169～173 (1987)
- 8) 電子スコープとファイバースコープの優劣比較—病変微細診断能—
日本臨床 45 (6) 1240～1243 (1987)